

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年2月24日

事業所名: 放課後等デイサービス スワールキッズ奈良教室

対象人数(保護者)40人 回答者数 18人 回収 45%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3		1		
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		7	1	<p>このたびは職員体制についてのご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。ご不安に感じられた点について、当事業所の体制を補足してご説明いたします。</p> <p>当事業所では、定員10名の運営にあたり、法令上求められる人員配置を満たすうえで、安全管理と支援の質を確保できるよう職員体制を組んでいます。直接支援に必要な体制は事業所で事前に確保しており、タイミー就業者の有無によって必須の配置が左右されることはありません。</p> <p>一方で、タイミー等を活用する場合は、主に清掃・環境整備・支援準備等の補助業務、ならびに余暇時間の見守りの補助として就業いただき、職員が支援準備と直接支援に充てる時間を増やすことを目的としています。支援内容の判断や主たる対応は事業所職員が行い、現場責任者の指示のもとで補助として配置しています。</p> <p>また、タイミー就業者は例外なく児童指導員の任用資格を有する方で、保育士や教員免許等の資格を持つ方が応募できる募集条件としています。勤務前には教室の理念・支援方針の研修を受講したうえで、業務マニュアルの読み合わせを実施してから配置しています。</p>
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		2		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			2		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1				<p>温かいコメントも頂戴し、心より感謝申し上げます。</p> <p>スワールキッズでは、お子さま一人ひとりの特性や理解の仕方に合わせた支援を大切にしています。全体で12名の職員が在籍しており、そのうち教員免許を保有する職員が5名在籍しています。さらにそのうち3名は小学校の特別支援学級の担任経験があり、学校現場での経験も活かしながら、学習面の支援にも力を入れています。</p> <p>学習では、お子さまごとに「学習カルテ」を作成し、つまづきや得意分野、取り組みやすい方法を整理したうえで、理解度やその日の状態に応じて学習プリントや課題を調整しながら提供しています。</p> <p>今後も、保護者さまからのご意見を大切にしながら、子どもたちが安心して学び、挑戦できる環境づくりと、特性に応じた丁寧な支援の充実に努めてまいります。</p>
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		<p>ご意見も頂戴し、心より感謝申し上げます。</p> <p>スワールキッズでは、学習面だけでなく、日常生活の中で必要となる力を、将来の場面でも活かせる形で身につけていくことを大切にしています。料理や紐結びといった活動は、単に「できる・できない」を目的にするのではなく、手順を見通す力／指先の操作・両手の協応／集中して取り組む力／困った時に助けを求める力／最後までやり切る力など、場面が変わっても活かせるポータブルスキルの獲得につながるプログラムとして位置づけています。</p> <p>今後も、公表している支援プログラムと日々の支援内容の一致を大切にしながら、お子さま一人ひとりの特性や発達段階に応じて、生活力とポータブルスキルの両面を育てる支援を継続してまいります。</p>
	⑦ こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1				
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				1	
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				2	
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	2		9	<p>放課後児童クラブ・児童館等との交流や、地域の他のお子さまと活動する機会について、十分に実施できていない点を課題として受け止めています。現状、定期的な交流機会は限定的であり、保護者の皆さまから「ない」と感じられる状況があることも認識しています。</p> <p>一方でスワールキッズでは、将来地域の場で過ごすことにつながるよう、料理や紐結び等の生活プログラム、外出活動、対人スキルの練習などを通して、挨拶・順番・ルール理解・切り替え・困ったときに助けを求める等のポータブルスキルを日々育てています。</p> <p>また、平日の運営上、放課後児童クラブ・児童館との定期交流は時間的に難しい面がありますが、地域資源の活用として、地域の体育館を利用した活動や公園での活動など、地域の場での経験を積む取り組みは実施しています。今後も、安全管理と個々の特性への配慮を最優先に、実施可能な範囲で地域での活動機会を確保してまいります。</p>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	8		現時点で、スワールキッズでは家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)として体系立てた形での実施はまだ行っていません。一方で、家族支援として、個別にご相談いただいた保護者さまに対し、お子さまの困りごとの整理、関わり方・対応のコツ、事例の共有などを行い、ご家庭で取り組みやすい形での助言・情報提供を実施しています。 また、今後ペアレント・トレーニングを実施できるよう、職員が外部研修を受講し、準備を進めているところです。今後は、現在行っている家族支援の内容を分かりやすくお伝えできるようご案内方法を改善するとともに、保護者さまが必要なタイミングで相談しやすい体制づくりを進めてまいります。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	16	2				
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1		1		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			1		
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	6	10		現時点で、スワールキッズでは、父母の会活動の支援や保護者会の開催など、保護者同士の交流の機会はまだ実施できていません。また、きょうだい向けイベントについても、定期的な開催には至っていない状況です。 今後は、保護者の皆さまが安心して情報交換できる場として、まずは“小規模な保護者会(情報共有会)”の開催を検討し、無理のない形で実施していきます。あわせて、きょうだい支援についてもニーズを把握しながら、実施可能な形を検討してまいります。
	⑲ 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1				
	⑳ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2		1		当事業所では以下の方法で情報発信を行っています。 ・活動概要・日々の活動内容:Instagramにて発信しています。 ・行事予定・連絡体制等の情報:HUGにて開示し、必要な連絡やご案内を行っています。 ・自己評価の結果:スワールキッズのホームページにて公開しています。 今後も、保護者の皆さまが必要な情報を分かりやすく受け取れるよう、発信内容や周知方法の改善にも努めてまいります。
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉔	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	4		6		<p>安全に関する取組みが保護者の皆さまに十分に伝わっていなかった点は課題として受け止めています。</p> <p>当事業所では、事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等の各種マニュアルは策定し、職員間で共有したうえで運用しています。一方で、訓練の実施状況や内容について、保護者の皆さまに分かりやすく周知できていなかった可能性がありますと考えています。</p> <p>今後は、マニュアルの周知方法を見直し、保護者の皆さまに要点が伝わる形でのご案内を行うとともに、訓練の実施状況についても、実施後に概要をお知らせするなど、取り組みが見える形になるよう改善してまいります。</p>
	㉕	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	1	11		<p>訓練の実施状況が保護者の皆さまに十分に伝わっていなかった点は、課題として受け止めています。</p> <p>今年度は12月に消防訓練・避難訓練を実施しました。今後は、訓練の実施予定や実施後の概要（訓練内容、気づき、改善点等）について、HUG等を通じて分かりやすくお知らせし、保護者の皆さまにも取組みが見える形となるよう改善してまいります。</p>
	㉖	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		4		<p>安全確保に関して一定のご評価をいただけたことに感謝するとともに、一部の保護者さまには安全計画の内容が十分に伝わっていない現状があることを課題として受け止めています。</p> <p>当事業所では、事故防止・緊急時対応・感染症対応、防犯等の各種マニュアルの整備や、訓練の実施等を通じて、安全管理に取り組んでいます。今後は、これらの「安全を確保するための計画」について、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう、要点を整理した資料の共有や、HUG等での定期的な周知、訓練実施後の概要報告など、情報発信の方法を改善してまいります。</p>
	㉗	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		4		<p>ご評価をいただいた点に感謝するとともに、連絡や説明の内容・分かりやすさについて改善の余地がある点を課題として受け止めています。</p> <p>当事業所では、怪我や事故等が発生した場合、状況を確認したうえで保護者さまへ速やかにご連絡し、発生状況、応急対応、当日の様子等をお伝えすることを基本としています。一方で、事故等の経験がない保護者さまにとっては「どのような場合に、どのタイミングで、どの程度の説明があるのか」が分かりにくく、「分からない」と感じられた可能性もあると考えています。</p> <p>今後は、連絡・説明の流れ（連絡基準、共有内容等）を分かりやすく整理し、入所時や年度初めのご案内、HUG等での周知を通じて、保護者の皆さまが安心してできるよう改善してまいります。</p>

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑦	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				<p>安心して通っていただけているというご評価をいただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>スワールキッズでは、お子さまが「安心して過ごせること」を支援の土台として大切にしています。日々の関わりの中で、見通しを持てる声かけや環境づくり、気持ちの変化への丁寧な対応、一人ひとりの特性に合わせた関わりを積み重ねることで、安心感につながるよう努めています。</p> <p>今後も、保護者さまとの連携を大切にしながら、お子さまが安心して通える居場所づくりと支援の充実に取り組んでまいります。</p>
	⑧	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	3		1	<p>多くの保護者さまに前向きに捉えていただけたことに感謝するとともに、一部のお子さまについては「楽しみ」と感じるまでに至っていない、またはご家庭からは様子が見えにくい可能性がある点を課題として受け止めています。</p> <p>スワールキッズでは、安心して通えることを土台にしながら、「できた」「わかった」「通ってよかった」と感じられる成功体験を積み重ねられるよう、活動内容や関わり方をお子さま一人ひとりに合わせて工夫しています。無理に気持ちを引き出すのではなく、興味関心や得意なことを手がかりに、参加のしやすさや達成感につながる場面づくりを大切にしています。</p> <p>今後も、お子さまの表情や反応、参加の様子を丁寧に捉えながら、楽しみにつながる要素(好きな活動、役割、見通し、安心できる関係性等)を増やし、保護者さまにも様子が伝わるよう共有の工夫を行ってまいります。</p>
	⑨	事業所の支援に満足していますか。	16	1		1	<p>当事業所としては、限られた時間の中で支援の質を高めることを重視しています。短い時間でも「できた」「通ってよかった」と感じられるよう、活動にメリハリをつけ、見通しを持てる提示や声かけを行いながら、やることを切り替えられる力を育てています。</p> <p>この「切り替え」は、スワールキッズが育むポータブルスキル(場面が変わっても活かせる力)の獲得と深く関係しています。具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動前後に「どうしたい?」「どうだった?」と対話し、自分の状態や希望を言葉にすることで、(1)自己理解につなげる ・イライラや不安などの気持ちを落ち着けた行動に切り替える練習として、(2)感情と行動の調整力を育てる ・スケジュールや手順書、タイマー等で流れを視覚化し、準備・片付けをルーティン化することで、(3)生活習慣を整える力につなげる ・ルールのある遊びや共同作業の中で、順番・役割分担・声かけを経験し、(4)他者との関わりを育てる ・「部分的」「1回だけでも」「見学から」など小さな挑戦を積み重ね、達成感を次の意欲につなげることで、(5)挑戦と失敗から学ぶ力を育てる <p>今後も、お子さま一人ひとりの特性やその日の状態に合わせて、限られた時間をより有意義なものにできるよう、支援内容と運営の改善を継続してまいります。</p>
	⑩	プログラムに満足していますか。良かったプログラムがあればご意見欄に記入してください。	17	1			<p>18件中17件の保護者さまから「はい」とご回答をいただきました。温かいご評価をいただき、心より感謝申し上げます。</p> <p>ご意見欄では、お出かけや体育館を借りて身体を動かす活動について「楽しかった」「身体を動かせたのが良かった」とのお声、また料理・お菓子作りについて「興味を持ち楽しんでいる」「いつも楽しみにしている」といった声を多くいただきました。さらに、料理、結びび、日々の学習サポートなど、日常の積み重ねのプログラムも評価いただきました。</p> <p>スワールが目指すのは、子ども達が自立して生きていく力を育み、夢や目標に向かって挑戦し、人生を楽しむ人になることです。</p> <p>ここでいう「自立」は、“一人で何でもできること”ではなく、健全な依存先(人・物・地域資源)を増やし、上手に助けられながら、自分も誰かの力になれるという相互的な生き方だと考えています。</p> <p>そのため、プログラムは「楽しい活動」を並べるだけでなく、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料理や結びびで、手順・見通し・片付けなど生活習慣を整える力を育てる ・体育館活動や外出で、ルール・順番・切り替えなど感情と行動の調整力/他者との関わりを育てる ・「部分的」「1回だけでも」「見学から」など小さな成功を重ね、挑戦と失敗から学ぶ力を育てる <p>といった、環境が変わっても活かせるポータブルスキルにつながるよう設計しています。</p> <p>またスワールでは、「楽しむ」とは単なる娯楽ではなく、挑戦の中で成長や達成感を実感し、人生を前向きに味わうことだと捉えています。</p> <p>今後も、子どもたちが安心して挑戦できる機会と環境を整え、できることに目を向け、気持ちに寄り添い、子どもが選べる場面をつくる——という支援視点を大切にしながら、理念に沿ったプログラムづくりを続けてまいります。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
ご質問	①	ペアレントトレーニングを知っていますか。	10	1	2	5		
	②	ペアレントトレーニングがあったら参加したいですか。	9	5		4		スワールキッズでは、子どもたちの支援は教室の中だけで完結するものではなく、ご家庭や学校など日常の場面とつながってこそ力が育つと考えています。そのため、保護者の皆さまが日々の困りごとを整理し、関わり方の選択肢を増やすような学びの機会として、ペアレントトレーニングの開催を今後検討しています。今後も、ご家庭と事業所が同じ方向を向いて、お子さまの成長を支えられるよう取り組んでまいります。